

令和7年度より、村民の皆さまの健康寿命の延伸と健康格差の縮小を目的として、「みんなでつながる心と身体健康づくり」をスローガンに、鶴居村健康増進計画「健康つるい21（第三次）」が策定されました。10月号では基本方針の一つである“がん”をご紹介します。

健康つるい21（第三次） がん ※抜粋

《主な数値目標》

評価項目	基準値	目標値
がん検診受診率の向上		
胃がん検診（50歳以上）	36.8%	60.0%
肺がん検診（40歳以上）	39.9%	60.0%
大腸がん検診（40歳以上）	36.0%	60.0%
子宮頸がん検診（20歳以上）	21.7%	60.0%
乳がん検診（40歳以上）	27.2%	60.0%

科学的根拠に根ざしたがん予防ガイドライン 「日本人のためのがん予防法（5+1）」



“がん”では

◆がん予防を正しく理解し、その予防に取り組んでいる。

◆定期的にがん検診を受診することができる。

◆がん検診の結果、異常が発見された場合はすみやかに精密検査を受診する。

を目指す姿として掲げています。

がんやがん予防のための生活習慣や検診について正しい知識の普及啓発を行うとともに、がん検診を受診しやすい体制整備に努めます。



～がん検診に関するアンケート調査を実施しました～

令和7年2月から4月末にかけて、国民健康保険および後期高齢者医療被保険者を対象に、がん検診に関するアンケートを実施しました。ご協力いただきありがとうございました。

本調査は、村民のがん検診に対する意識や受診状況を把握し、検診受診の有無に影響を与える要因を明らかにすることで、今後のがん検診施策の参考とすることを目的としています。

【調査結果の一部を抜粋しご紹介します】

がん検診を受けた理由

- 1位 早期発見だと治りが早いから（57%）
- 2位 がん検診の対象年齢だから（51%）
- 3位 費用が無料だったから（37%）

がん検診を受けない、毎年受けない理由

- 1位 心配な時は医療機関を受診するから（28%）
- 2位 検査に伴う苦痛が不安だから（18%）
- 3位 特に理由はない、その他（各10%）

・この調査から、がん検診の受診行動には、検診に関する知識や意識の差が大きく影響していることが明らかになりました。特になん検診の目的や意義を十分に理解していない方も多く、受診の必要性を感じていないことが背景にあると考えられます。

・がんの初期は、自分では気づけないものがほとんどです。健康で無症状のときにがん検診を受診することが、早期発見・早期治療に繋がります。

・今後は、がん検診の正しい知識を広く伝え、意識の向上を図る取り組みを行っていきます。



～訂正のお知らせとお詫び～

広報つるい9月号掲載「3歳児歯科表彰むし歯のない子」にて、「吉田篤生くん」として掲載しているお子様につきまして、正しくは「吉田翔葵くん」であったこととお知らせいたします。謹んでお詫び申し上げます。